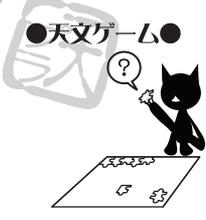




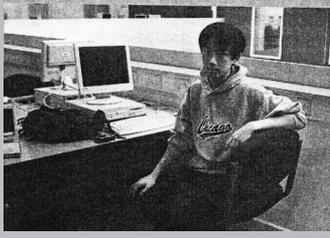
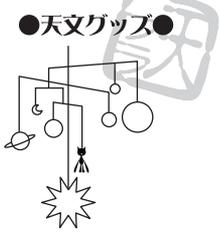
梅雨の季節真っ盛り、星見には多少厳しい季節ですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？
今号は夏休みスペシャルということで、私たちが次に実現してしまおうと狙っている選りすぐり（と本人たちは思いこんでいる）ネタを一挙大公開したいと思います。

高梨直純（東大D1/天文学教育研究センター所属） 平松正顕（東大D1/国立天文台ALMA推進室所属）



●天文ゲーム●
天文学を題材にしたゲームは意外と見当たりません。見当たらないのなら、そう、作ってしまえば良いのです。天プラでは、既に天文学タイピングゲーム“宇宙打”（ソラウチ）を完成させ、公開していますが、この他にも色々なゲームを作っていきたいなあと考えています。簡単なところでは、例えば天文ジグソーパズル。ハッブル宇宙望遠鏡の撮った最新の写真をどんとどんとパズルに加工してみました。何人かで楽しむのならば、カードゲームなんか面白そうです。あすとろカルタは現在天プラで製作中の天文学カルタ。これは来月号で詳しく紹介します。ちょっと大人向きには宇宙麻雀なんてどうでしょう。色々な天体が書かれた牌を集めて、天文学的な役を完成させます。リーチ、イッパツ、系外惑星三役！とか。個人的にぜひ作ってみたいのが、ゲームとはちょっと違いますが自動星座絵検索システム。インターネット上で自由に絵を描くと、その絵の形に合わせてもっとも似ている星の並びを星図から探してくるサービスです。自分だけの星座が作れちゃうの、楽しそうじゃないですか？

ちょっと星見に行った時に便利なグッズ、星ナビでもたくさん紹介されていますがまだまだ作れがありそうな気がします。私は星を覗く時は寝っ転がること多いんですが、そんな時、星図入りのシートなんかがあると便利だなあ...と思ったり。蓄光インクでぼやっと光ってくれば、いちいち懐中電灯で星図を眺めなくても済みそうです。シートのように実用系だけではなく、おしゃれ系やかわいい系の天文グッズも、もっともっとあっても良さそうです。例えば、太陽系モビルなんてどうでしょう。部屋にぶら下がってたらかわいい気分がしませんか？もっと天文学的なものならば、恒星マトリョーシカ。マトリョーシカは、ロシアの伝統人形で、入れ子式で何体も同じ人形が入っているあれです。恒星は進化すると、外から順に水素、ヘリウム、酸素+炭素、マグネシウム+ネオン...とタマネギ状の構造になるんですが、それをマトリョーシカで再現したらちょっとしゃれた感じのグッズが出来そうじゃないですかね。根性があれば、宇宙から地球に降ってくる宇宙塵を集めた宇宙塵砂時計なんか作れないこともないですね。宇宙を漂っていたチリで出来た砂時計、プレゼント用にいかが？



宇宙打でもお馴染みの“スローン・デジタル・スカイ・サーベイ (SDSS)”の会議で、イギリスに出張中の高梨。超新星の研究について打ち合わせです。もちろん英語はペラペラ...になりたいなあ。



●企画・イベント●
なにもモノを作るだけが能ではありません。面白いイベントや企画もどんとどんと実現させていきたいですね！例えば、星専専門ラジオ番組、あすとろラジオ。かの野尻抱影さんも、ブレイク(?)のきっかけはラジオ番組だったと聞いています。様々な星座や神話の話から、最新の天文学の話、今晚の星空情報に天文をモチーフにした楽曲紹介、子供電話天文相談室等々ネタはいくらでもありそうです。ラジオがあるなら、TV番組だってあって良さそうです。毎週1つの系外惑星に狙いを定めて、番組中リアルタイムで電波から可視まで様々な観測を行って、知的生命からの信号を検出するなんて番組、深夜帯に出来ないですかね。怪しさ満点で面白そうですけど。怪しすぎるかな。爽やかイベントで意外となないのが、天体写真展。もちろん、プラネタリウムや科学館に行けば展示している場所も多いんですが、例えば六本木ヒルズやHEPのようなおしゃれスポットで、おしゃれに展示できるくらいハッブル宇宙望遠鏡やすばる望遠鏡が撮った画像は綺麗だと思わすけどね。誰か一緒に企画しましょうよ！



観測のために4度目のチリ渡航中の平松。南十字のさらに南に位置するカメレオン座にある星形成領域の観測をしています。標高4800mの高地では、僕たちの望遠鏡が今日も夜空に耳を澄ませています。

いまやインターネットは多くの家庭に導入され、日常生活にもしっかりと根を下ろしつつあるように思えます。インターネットの良いところは、多くの情報を共有できることではないでしょうか。そこで、こんなものがインターネット上にころがってれば便利なのに...というアイデアを挙げてみましょう。例えば、星空案内をMP3の状態でもとめた星空音声案内。季節ごと、方角ごとに録音されたMP3ファイルをダウンロードして、MP3プレーヤーに移して星空の下に持ち出せば、天然プラネタリウムが出来てしまいます。どこに星見に行こうか迷ったら、アクセスするのがるぶ天文。星空の透明度情報から、天文的な観光名所、はたまた星空を堪能できる露天風呂リトリなんかまとめてあれば便利なことこの上ありません。他にも、ありそうでないのが星座絵データベース。星座や神話の絵は意外とたくさんあるんです。中世ヨーロッパの絵描きさんたちがいっぱい描いていますからね。これらのほとんどは著作権フリーなので、まとめておけばなかなか楽しいデータベースが出来そうです。もちろん、私たち天文ファンが描いたオリジナルの星座絵も集めてあれば、なお眺めていて面白いサイトになりそうです。



天プラでは、各地の科学館・プラネタリウムと協力して天文講演会や天文教室などのイベントも行っています。7月30日には、埼玉県さいたま市の「さいたま市宇宙劇場」にて天プラメンバーによる天文講演会“天文学最前線”を行います。お近くにお住まいの方は、ぜひ覗きにきて下さいね！(詳しいお知らせは、天プラのウェブサイト[www.tenpla.net]にあります)

ちょっと宣伝

どうでしょう？なにか気に入ったアイデアはありましたか？天プラサイトでは、ここで紹介した以外にもたくさんのアイデアを公開しています。皆様からのアイデアも常に大募集中です。アクセスしてみてください。気になるアイデアがあれば、ぜひ声をかけて下さいね。一緒に実現させましょう！